

令和7年度

松村市長へ

予算要望を提出

依然として継続する物価高騰の中の市民生活や人口減少・少子高齢化の進行、また、若年層・子育て世代の他市への流出や地域コミュニティの希薄化、地域活動の担い手不足、自然災害の広域化・激甚化・頻発化が進むなど、様々な宇治市の課題がある中、50年後、100年後を見据えた持続可能な市政運営を期待し、予算要望を行いました。



新たな未来への投資

産業・人権環境

① 産業振興・雇用創出

市内中小企業への人材確保、市内農業の後継者育成・新規就農者支援、茶業の摘み子確保、有害鳥獣対策など

② 障害者・生活困窮者・ひとり親・若年者・就職氷河期世代就労支援・雇用創出

社会的弱者の就労支援、障害者雇用促進、就職氷河期世代への支援など

③ 観光振興

観光公害の最小化、インバウンド受け入れ体制の整備、歴史公園茶づなの来場者数増加支援、天ヶ瀬森林公園活用など

④ 文化・スポーツ振興

部活動を含めたスポーツ・野外活動時の熱中症対策、部活動地域移行及びスポーツ振興による地域活性化など

新たな実感できる改革

総務

① 防災・減災・防犯対策

災害時行政機能継続体制強化、避難所DX化・冷暖房・災害トイレ、緊急輸送道路網整備、消防団員確保など

② 行財政改革

内部経費効率化、合理的な政策評価方式の採用、施策達成状況の市民への可視化など

③ 公共施設管理

幼稚園跡地・小学校跡地利活用、中宇治公共施設の事業実施など

④ 地域コミュニティ振興

地域コミュニティ創出のための場・機会の提供、自治会・PTAなどのデジタル機器活用支援など

⑤ 行政のデジタルトランスフォーメーション

基幹系システム標準化、AI・RPAの活用など、行政DXの促進とデジタル人材育成・確保、行政システムのクラウド化など

新たな変化への対応

文教福祉

① 子ども・子育て支援

子育て支援医療の対象拡充、医療的ケア児受け入れ拡大、育成学級職員確保、保幼こ小中連携など

② 教育環境整備

CS及び地域学校協働活動の活性化・成果検証、単位PTA活動支援、不登校児童支援、学力格差・教育ICT化格差解消、学校外教育費支出格差・解消など

③ 高齢・障害・子ども・生活困窮などの福祉

包括的相談・支援体制の整備、子宮頸がんワクチン接種率向上、健康データ分析などによる健康寿命延伸施策など

新たな基盤づくり

建設水道

① 都市基盤整備

駅周辺整備など中心市街地の再活性化、公民連携型オンデマンドバス、地区計画を活用した地域コミュニティ活性化など

② 道路・交通インフラ整備及び交通安全対策

地域要望に沿った交通インフラ維持・管理・整備、交通安全対策、新名神開通で予想される交通渋滞予防など

③ 災害に備えたインフラ整備

道路・橋梁・河川・水道管などの整備及びインフラ更新による激甚化する大雨災害や地震災害による被害の最小化など

④ 重点地域要望

近鉄小倉駅周辺整備、山間集落地の地区計画運用指針、黄檗公園園路改修、京阪三室戸駅前ロータリー化など

12月定例会 一般質問



岡本里美 議員

高齢者がいきいきと暮らせるまちづくりについて

地域で、人と人とのつながりを大切に、お互いに助けたり助けられたりする関係をつくっていくことが地域福祉の基本とされており、高齢者が生きがいを持って暮らすことができる取り組みについて質問した。答弁では、生活支援コーディネーターを社会福祉協議会と福祉サービス会社に配置し、地域の実情に沿った支え合い・助け合いの体制づくりを支援することにより、活躍できる場や通いの場等、居場所づくりに取り組んでいる。また、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域や制度で支える高齢者施策の考え方のもと、介護予防、健康づくりの取り組みを重要としている。



角谷陽平 議員

子育て支援医療制度を高校生まで拡充へ

子育て支援医療制度は、中学3年生までの子どもの医療費を、1医療機関につき1ヶ月の自己負担額上限を200円とし、子育て世代の経済的負担を軽減するための制度。転出超過となっている子育て世代に、宇治市を子育てする場所として選択してもらおう呼び込み策としても有効なこの制度の拡充について市長に要望した。市長は、現在京都府にて福祉医療制度のさらなる充実が検討されており、府の制度拡充の時期にあわせた子育て支援医療制度の高校生までの拡充を検討していくと答弁。また、市長に対し、人口減少を食い止め、人口・年齢構成比率を定常化するとともに、将来の人口動態に適合させた市政運営により、今よりも市民生活を向上させるための人口戦略について、質疑・要望した。

4 常任委員会 報告

総務 常任委員会

政策、財務、広報、消防などを担当



岡本里美

西川友康

第3期宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略



国勢調査の人口を基にした推計によると、本市の人口は令和12年に約16万人、令和22年に約14万人と減少し、少子高齢化がさらに進むと見込まれている。これまでの人口ビジョンの検討を基に、人口の維持と持続可能な発展に向けた「まち・ひと・しごと」を創出するための創生総合戦略の策定に向けて検討を進めている。(計画期間：令和7年度～令和11年度の5年間)

文教・福祉 常任委員会

教育、福祉などを担当



真田敦史

今川みや

宇治市子どもまんなかプランが策定されます



「第2期宇治市子ども・子育て支援事業計画」「宇治市子どもの貧困対策推進計画」が令和6年度末で終了。子ども、家庭、地域社会の視点を元に、安心して育てられる環境を整備し新たに【宇治市子どもまんなかプラン】を策定。(計画期間：令和7年度～令和11年度の5年間)

産業・人権環境 常任委員会

産業・観光振興、人権、環境、まち美化、農業などを担当



松峯 茂

角谷陽平

ペット霊園の設置等に関する宇治市の考え方について

ペット霊園の設置やペットの火葬については適用される法律がなく、他市では事業者と近隣住民とのトラブル事例も生じている。市として「市民の良好な生活環境の保全」と「ペット霊園等の利用者の保護」を確保するため、条例の制定に向けて検討していく。



建設・水道 常任委員会

建設、都市整備、水道などを担当



服部 正

近鉄小倉駅周辺地区まちづくりの進捗状況について

学識経験者、地域や関係団体などで構成される「まちづくり基本構想推進会議」が4回開催され、地域説明会・オープンハウスなどの開催とも合わせて基本計画策定に向け、駅前広場、自由通路やにぎわいの創出などについて話し合われたところ。今後、都市計画決定までの手続きを概ね2年程度で行いつつ鉄道事業者との協議も重ねながら基本計画等を進めていく。



うじ未来

議員紹介

松峯 茂

まつみねしげる

- 宇治市議会議長
- 産業・人権環境常任委員会 委員
- うじ未来 団長
- 城南衛生管理組合協議会議員

真田 敦史

さなだあつし

- 議会運営委員会 委員
- 文教・福祉常任委員会 委員

服部 正

はっとりただし

- 建設・水道常任委員会 副委員長

今川 美也

いまがわみや

- うじ未来 幹事
- 文教・福祉常任委員会 副委員長
- 京都府地方税機構議会議員

岡本 里美

おかもとさとみ

- 総務常任委員会 委員長
- 城南衛生管理組合協議会議員

西川 友康

にしかわともやす

- 総務常任委員会 委員
- 広報委員会 委員長

角谷 陽平

かどやようへい

- 議会運営委員会 委員
- 産業・人権環境常任委員会 副委員長
- 広報委員会 委員
- 城南衛生管理組合協議会議員